1982年3月野依福祉村病院開院



1982年3月1日豊橋市野依町にある福祉村に野依福祉村病院(150床)を設立しました。福祉村内のお年寄りや障がい者の利用だけでなく、開院当時医療施設がほとんどなかった豊橋市南部地域の医療を担う重要な施設でした。

1984年8月第二病棟開設



認知症の高齢者が安心して 療養しご自宅へ帰る事ができる よう生活環境を整えリハビリ テーションを行うことを目的に、 第二病棟(236床)が開設され ました。

2002年4月さくら通り病棟開設

1962年に開院した豊橋市東雲町の山本病院は施設基準や建物の老朽化で2002年3月31日の閉院が決まりました。山本病院の入院患者様を受け入れるため第一病棟南側のパターゴルフ場に2階建ての病棟を建設、2002年4月1日に福祉村病院さくら通り病棟として、再出発しました。



特集

福祉村病院が豊橋市野依町にある福祉村に開院し |今年で40年を迎えました。今回は、福祉村病院の歴史を紹介し

2015年1月 病院機能評価認定取得

日本医療機能評価機構の審査をうけ、審査区分3rdG:ver.1.0の認定を受けました。



2020年8月第一病棟1階を地域包括ケア病棟へ転換



病状が安定した後、在宅復帰・施設復帰に向けた診療、看護、リハビリテーションを行い、安心して退院できるよう支援するため、「地域包括ケア病棟」へ転換しました。

多職種で一丸となって、退院支援をサポートしていきます。



2020年10月 院内に歯科を再開

入院患者様、入所者様が健やかで豊かに生活できるよう、口腔機能の向上を目指し歯科を再開。

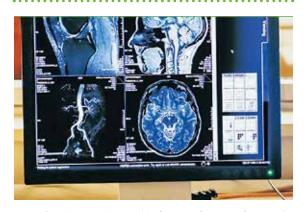
歯科医師先導のもと、口腔疾患と口腔 内に起因する全身疾患の予防に努めてい ます。



1993年5月 長寿医学研究所開設

理事長山本孝之が世界中の人々が健康で長 生きするのに役立つ研究が必須であると考え、 名古屋市立大学岡田秀親教授を所長に迎え最 新の設備を整え開設されました。

2014年4月 認知症予防脳ドック開始



認知症を予防して健康で元気な長寿を迎えていただけるように始まりました。生活習慣病に関するチェック、MRIで脳の働きをみる神経心理学的検査、理学療法士による運動機能テストなどを行い認知症の早期発見を目指します。

2010年4月 神経病理研究所開設



これまで長寿医学研究所のブレインバンクとして、国内外の大学、研究施設と共同研究を行っていました。より正確な神経病理診断を行い基礎研究を進めてゆくために神経病理学の権威である橋詰良夫愛知医科大学名誉教授を迎え神経病理研究所を開設しました。

さくら通り病棟開設2002年4月

●福祉村病院〈名称変更1995年12月

●ブレインバンク設立1994年6月

●長寿医学研究所開設1993年5月

●福祉村病院研究室開設1991年4月

●病棟転換により老人保1990年9月

■歯科開設1986年7月

●第二病棟開設

野依福祉村病院開院1982年3月

年 表



2014年12月 EPA候補生受け入れ開始

経済連携協定に基づき、インドネシア、フィリピン、ベトナムより、看護師・介護福祉士候補生の受け入れを開始しました。慣れない環境や言葉を乗り越え、職務と勉学に励み試験に向け努力しています。

病床転換で生まれた施設

2020年4月 介護療養病床を 介護医療院へ転換



要介護の利用者様に対し、医療・介護だけでなく生活の場を提供するため、第二病棟の2~5階を介護療養病床から「福祉村病院介護医療院」へと転換しました。

部屋の中を家具等で仕切り、それぞれのプライバシーが守られ、安心して過ごせる環境です。

1990年9月 福祉村老人保健施設 ジュゲム開設



入所をしながら箸やスプーンの使い方や着替 え保清のやり方など実際の生活で必要なやり方 を見つけたり理学療法士や作業療法士の指導 の下でのリハビリを提供し在宅復帰を促すことを 目的とした老人保健施設が病院西側に100床で オープンしました。

福祉村病院歯科を再開 2020年10月

■福祉村病院一棟1階を地2020年8月

■福祉村病院介護養病床2020年4月

●病院機能評価認定取得2015年1月

●EPA看護師候補生受2014年12月

●認知症予防脳ドック開:2014年4月

●神経病理学会の認定施●神経病理研究所が日本

1

●神経病理研究所開設2010年4月